



安倍晋三首相の盟友で次代のリーダーとして期待された故中川昭一元財務相。水問題がライフワークの一つだった。経産相の時、皇太子の論文を読んで感銘を受けたのが、水問題に取り組みきっかけだったという▼落選で失意の中、東京ミッドタウンで水問題に関する講演会を開いた。約600名が参加した。バイチャルウォーターや水不足への危機などを訴えたという。亡くなる1週間ほど前のごとで、これが公衆の前で最後に見せた姿だった▼その中川氏は、自民党に特命委員会「水の安全保障研究会」を発足させ、会長として議論を引っ張った。08年8月には669頁にも及ぶ最終報告書をまとめた。そこには、政治主導による機動的かつ大胆な政策を可能とする制度の構築や産官学の知恵・経験を活用する連携の構築などが提言として盛り込まれている。同研究会は、最終報告書を最後に休止した▼休眠状態の研究会を復活させようと、昭一の妻で衆議院議員の中川郁子氏ら自民党の1年生議員十数名が活動を開始した。最終報告書に基づき関係省庁にヒアリングを行い、成果を今夏の参院選公約に盛り込むよう党幹部に要請した。水は今世紀の最重要課題の一つ。研究会復活をきっかけに実効力ある水政策を期待したい。(宣)



水の安全保障研究会の復活を目指す自民党1年生議員(平成25年5月15日)